

# 職員募集中!

介護の専門職、専門職を目指す  
あなたを待っています。

介護職員、看護職員、PT・OT、ソーシャルワーカー

チームで地域の中で暮らす支援を要する方々を支えましょう

利用者に最高の満足を!  
合わせて  
職員の満足度NO1を目指します!

# 働き方はいろいろで大丈夫です!

働き方は、あなたができる働き方で可能です。  
あなたは、チームの一員として、大事な人材です。

将来独立して自分で事業を始めたい方  
大丈夫です 独立を支援します

子育て中で、昼間の数時間しか働けない方  
大歓迎です

高齢者の方  
あなたの経験を活かした仕事があります

# 諸条件

- 給与 法人の給与規定に依ります
- 手当 資格手当、扶養手当、通勤手当、夜勤手当、処遇改善手当 等
- 賞与 1ヶ月分は毎月の給与に上乗せ  
年末に6万円+業績により支給
  
- 休暇 6ヶ月後から年休  
年1回の年休活用のリフレッシュ休暇可能
  
- 短時間制可能( 給与例:6時間勤務=本来の8時間の給与 × 6/8 )

平成27年6月現在 正職員 65人の平均月給(手当込) 235,000 円

▪ 月給(手当込) 200,000円以上の職員 44 人

※介護福祉士や看護師資格等の取得ための支援を行っています

# コレクティブが実践してきたこと&これから

目の前の一人ひとりの人を支える宅老所から始まり、「小規模多機能型居宅介護」を制度化してきました。

住民主体の法人も創り、元気に地域を支えています。

私たちの取組みから「運営推進会議」の制度化も行われました。

また、平成27年度からの「訪問強化加算」も私たちの取組みがモデルになっています。

更に、これから新たな取り組みを目指したいと思っています。

それは、「ビュートゾルフ型の地域包括ケア拠点」です。

住み慣れた地域での暮らしを支え続けるために、専門職がチームを組み、支え続ける実践をカタチにしていきます。このことが、スタッフの満足に繋がるものと考えています。

新たな取り組みにチャレンジするために、共に活動するあなたが必要です。

※ビュートゾルフとは、オランダの在宅ケア組織です。コレクティブの取組み参考資料参照

# NPO法人コレクティブとは

施設に勤めていた職員たちが、「認知症の人たちが地域の中で、その人らしく暮らすこと」を支えるために設立した。

そして、制度そのものも創りだしてきた。

1999年 「きなっせ」

2005年 「いつでんどこでん」

2008年 「いつでんきなっせ」

2011年 「いつでんくるばい」

2012年 「縁がわ小国」 を開設

職員数 75名 (連携法人および山鹿市役所出向者を含む)

「地域と自宅にこだわる」

行政・住民と協働する実践者でありたい

# NPO法人コレクティブの拠点



きなっせ



いつでんきなっせ



縁がわひらばる



地域ふれあいホームいつでんきなっせ



縁がわ小国



いつでんくるばい

関連事業所

# いつでもどこでん

(NPO法人 よんなっせ山鹿)



## 共生型小規模多機能ホーム

コレクティブが創設、平成20年4月から地域  
住民が設立したNPO法人による運営に移行

**「認知症になっても地域  
の中で普通に暮らせる」**

ことを目指し、通って、  
泊まって、家にも出向い  
て、住むこともできる地  
域共生ケアの拠点



# 小規模多機能の現場

- 利用者および地域の方々を柔軟に即時的に支援

- そのためには、  
職員がやりがいがある  
将来働き続けられる
  - 給与体系
  - 職員の働き方に合わせて
  - スキルアップ
  - 子育て
  - 独立も支援
  - リフレッシュ休暇

## 介護のお仕事に携わるみなさんにインタビュー

介護職として働き始め、現在施設管理者などになられている方々にお話をうかがいました。

### 地域で介護を支えるコミュニティ。 「小規模多機能ホーム」で日々の暮らしを支援します。

「小規模多機能ホーム」とは、介護が必要になった高齢者の方々が、住み慣れた地域や自宅での生活を継続できるサービスをご提供する施設です。「通所」「訪問」「泊まり」の3つのケアで、24時間365日間、ご利用者様のサポートをすることが目的。地域で介護を支えるコミュニティとして、平成18年度に制度化されました。当施設でも一軒家のアットホームな雰囲気の中で、他のご利用者様や職員と自由に会話を楽しんだり、料理を作って食事をしたり、買い物に出かけたりしています。つまり、日々の暮らしの延長上にある介護ということです。

私たちが意識していることは、共に「同じ地域に住む仲間」としての関わり方です。地域密着型の福祉サービスとして、これまで築いてこられた地域での生活や人間関係を継続していただくのが目標。例えば認知症の方なども、地域全体のサポートを強化していけば、自宅での生活も充分可能なのです。

ご利用者様の「こんな風に暮らしたい」という思いに寄り添った支援こそ、私たちが目指している介護スタイルです。そして率先して地域の方々と協力しあい、「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」を推進していきたいと思っています。



特定非営利活動法人 コレクティブ  
小規模多機能ホーム いつでんくるばい  
管理者  
稲富 慎一さん

